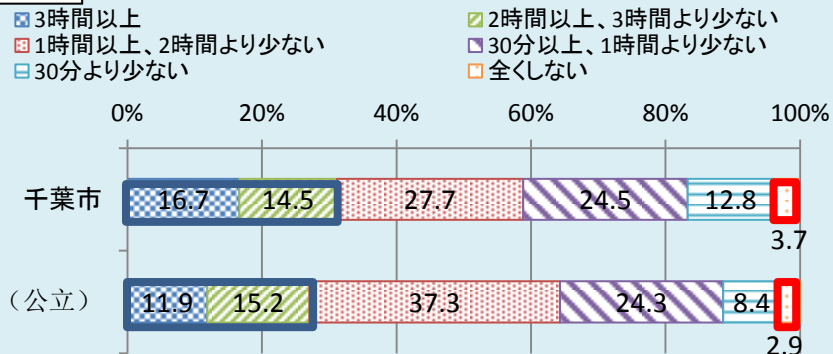


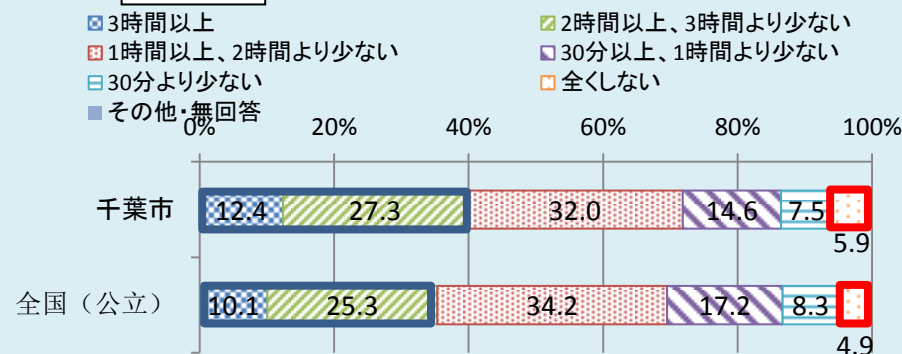
1 現状

○ 学校の授業以外に2時間以上学習している児童生徒の割合は全国よりも高いが、「30分より少ない」と回答する児童の割合も全国より高い。（H29全国学力・学習状況調査より）

小学生



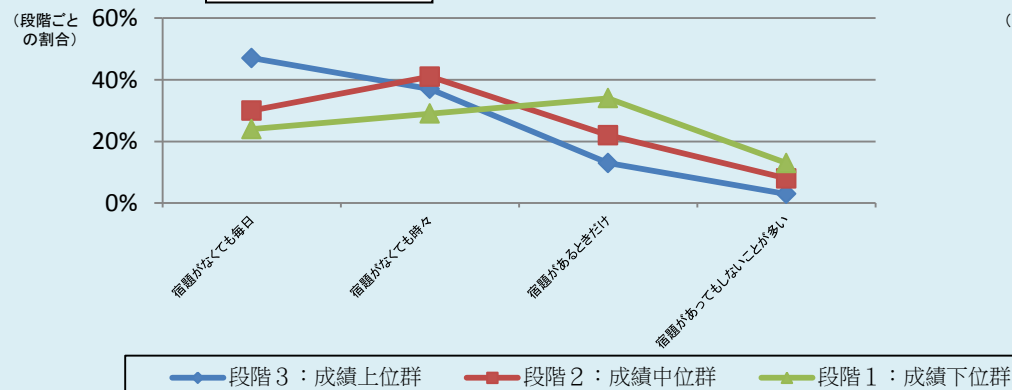
中学生



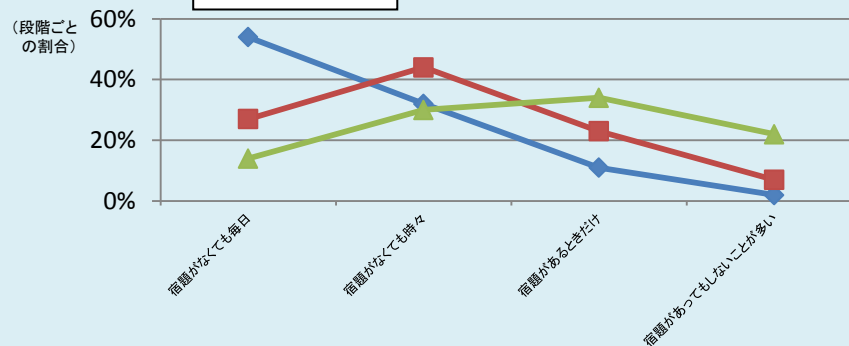
○ 学力に課題がある児童・生徒は、家庭学習の習慣が身に付いていない。（H29千葉市学力状況調査より）

<学力と家庭学習との関係>

小学5年生



中学2年生



## 2 現在の取組み

### 【学力に課題がある児童生徒への取組】

#### <小学校>

○千葉県学力状況調査の結果分析から、算数及び理科学習に課題がある学校に理数サポーター70名を配置。各学校で学力に課題がある児童への個別指導を実施

#### <中学校>

○基礎学力定着に課題がある生徒を中心に全学年で夏季休業中の補習を実施(4日~2週間)

(例)数学:正・負の数の復習、四則計算の反復練習、

国語:漢字練習、200字以内の作文指導

英語:英単語の復習、リーディング練習

## 3 課題

○泉高等学校での学び直し(ベーシック)の内容から、小学校段階での学び直しの機会をより一層充実していくことが必要

※ベーシック…義務教育課程の学習内容を復習する学校設定科目(主に国語・数学・英語)

○学習の習慣化を図るために、継続的に学び直し場を設けることが必要

## 4 今後の公立義務教育学校の取組み

### <全小・中学校>

○全国学力・学習状況調査の結果分析から各学校において、理解が不十分な児童生徒への取組の具体的な計画を作成し、実践

### <小学校>

○小学校5・6年生を対象にした次年度からの教育課程外の学力保障に向けたモデル事業を検討

#### (1) 夏季休業中講座(案)

- ・算数の四則計算学習を3日間集中実施  
指導者:NPO会員の元小・中学校教員  
場所:若葉区の公民館

#### (2) 継続的な学習会の実施(案)

- ・4教科の基礎的学習を月1回実施  
指導者:NPO会員の元小・中学校教員  
場所:美浜区の小学校1~2校